

2017.4
春

広島県 医療勤務環境改善支援センター



News Letter

勤務環境改善マネジメントシステム

STEP 1 方針表明

『方針表明』 ～方針の浸透を図る～

勤務環境改善の最終目的は、「雇用の質」向上による「医療の質」の向上です。

取組を成功させるためには、経営層や管理職のみでなく、医療スタッフ全員の協力が必要となります。取組開始時には「通常業務が立ち行かなくなる」「これ以上、無理」などの反対意見が出ることもあります。医療機関のトップによる宣言や、繰り返しメッセージを発信することで、医療機関全体の組織的な取組であることを浸透させることが重要です。

また、医療スタッフ全体から意見を吸い上げる仕組みをつくって、望ましい体制や組織風土を醸成していきます。



マネジメントシステム
導入準備

PLAN 計画

DO 実行

CHECK&ACT
評価・改善

STEP 1 方針表明

STEP 2 体制整備

STEP 3 現状分析

STEP 4 目標設定

STEP 5 計画策定

STEP 6 取組の実施

STEP 7 評価・改善

スタッフ全体から意見を吸い上げる仕組み

医療分野の「雇用の質」向上のための
勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き(改訂版)
平成27年3月より抜粋、編集

最近の動き

「医療勤務環境改善マネジメントシステム普及促進セミナー」への参加

平成29年1月20日14～17時、TKPガーデンシティPREMIUM 広島駅前にて、病院関係者、社会保険労務士等ら約40名が参加して、厚生労働省委託事業「医療勤務環境改善マネジメントシステム普及促進セミナー」(事務局:有限責任監査法人トーマツ)が開催されました。

セミナーでは、日本看護協会労働政策部 橋本部長の講演やグループワークなどがあり、その後、広島県医療勤務環境改善支援センター(以下、センター)から平成27年10月のセンター設立やこれまでのセンターの活動や今後について説明がありました。



医療機関の訪問状況

平成28年1月より開始した医療機関の訪問は、平成29年3月末で、10施設、延べ18回以上となりました。特に最近、勤務環境改善の取組みに対する高まりを感じています。

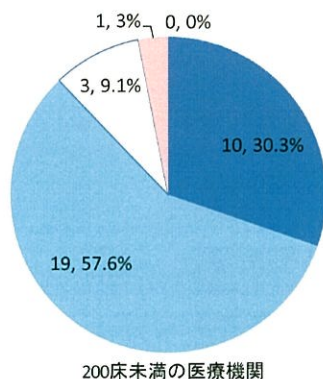
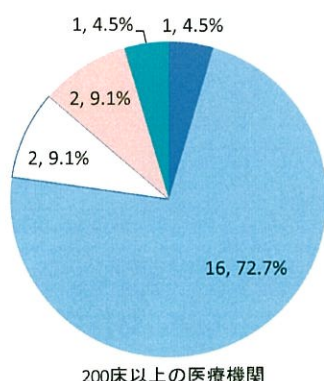
Dataチェック

勤務環境改善への取組みに対する医療機関の意識

平成28年12月15日、アークホテル広島にて開催した「第1回 医療勤務環境セミナー」(主催:広島県医療勤務環境改善支援センター)には、35医療機関から56名の方が参加しました。その際、アンケートを実施し55名の方から回答が得られました。

今後の勤務環境改善への取組予定についての質問では、本格的に取り組みたいと答えた医療機関は、200床以上では4.5%に対し、200床未満では30.3%と非常に高いことがわかりました。

Q.今後の勤務環境改善への取組予定は？



- 本格的に取り組みたい
- 何らかの形で取り組みたい
- 院内で取組を検討したい
- すぐの取組は難しい
- その他

お問い合わせ

広島県 医療勤務環境改善支援センター 広島県健康福祉局医務課内
TEL:082-513-3056

受付時間:(平日)10時～12時、13時～16時
(土日祝日、年末年始を除く)